（別記）

2020年度東通村農業再生協議会水田フル活用ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域の農業は、水稲と畜産を主として行われている。また、多数を占める自給農家の高齢化による離農、担い手不足から不作付地の拡大が進んでいる。このような現状のなか水田活用面積の維持を図るため、夏季冷涼の気候を生かした作物に転換を促進し、担い手育成及び土地利用集積を推進する必要がある。当地域では大豆、そば、野菜、WCSが水田転作で作付されている。大豆、そばに関しては圃場の排水性が悪くその年の降水量などの気象条件が直に収量に影響すること、圃場がまとまっておらず作業効率が低いことが主な課題となっている。また、野菜に関しては少量多品目を作付している自給農家が多く、比較的規模の大きい転作畑を利用した栽培に取り組めず産地形成が困難であること、WCS は法人のほか個人での取り組みも多く団地化形成が進まず作業効率が改善しないことが課題となっている。

２　作物ごとの取組方針等

適地適作を基本として、経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとし、特に、飼料用米、WCS用稲、大豆、そば、飼料作物については、農地の集積・集約化を図りながら、拡大を目指す。

（１）主食用米

適地適品種の作付を基本として、地産地消を推進し、現在の作付面積を維持するよう取り組む。

（２）非主食用米

ア　飼料用米

県設定の産地交付金の支援により多収品種の導入による収量の向上を図るとともに、低コスト栽培を推進し、面積を拡大していく。

イ　米粉用米　　「取組なし」

ウ　新市場開拓用米「取組なし」

エ　WCS用稲

作業効率を高めるため、地域設定の産地交付金の支援により団地化による生産効率向上を推進し、作付面積の拡大に取り組む。

オ　加工用米　　「取組なし」

カ　備蓄米　　「取組なし」

（３）麦、大豆、飼料作物

大豆は、地域設定の産地交付金を活用し、団地化を進め、ラジヘリ防除や排水対策などによる生産性向上を図り作付面積の拡大を目指す。

飼料作物は、耕畜連携による生産を推進し、現行の作付面積を拡大を目指す。

麦は取組なし。

（４）そば、なたね

そばは、県設定及び地域設定の産地交付金の支援により、団地化を進め、排水対策や地元の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積拡大を目指す。

なたねは取組なし。

（５）高収益作物（園芸作物等）

地域設定の産地交付金の支援により、地元消費が期待できる野菜１２品目（いちご、キャベツ、きゅうり、トマト、なす、ねぎ、白菜、ピーマン、ほうれんそう、小松菜、ばれいしょ、にんにく）を地域振興作物として作付面積の維持拡大を図っていく。

（６）畑地化の推進

ほ場条件によって水田から畑地への転換を推進する。

３　作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 （ha）	当年度の作付予定面積 （ha）	2020 年度の作付目標面積 （ha）
主食用米	112.0	112.0	110.0
飼料用米	23.3	22.8	25.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0
WCS 用稲	47.0	47.0	50.5
加工用米	0.0	0.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	63.8	66.0	70.0
飼料作物	23.8	23.8	24.0
そば	26.5	27.0	27.0
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	2.7	3.0	4.0
野菜			
・いちご	0.9	1.0	1.1
・キャベツ	0.0	0.0	0.0
・きゅうり	0.0	0.0	0.0
・トマト	0.0	0.0	0.0
・なす	0.0	0.0	0.0
・ねぎ	0.8	0.8	0.8
・白菜	0.0	0.0	0.0
・ピーマン	0.0	0.0	0.0
・ほうれんそう	0.0	0.0	0.0
・小松菜	0.0	0.0	0.0
・ばれいしょ	0.0	0.0	0.0
・にんにく	1.0	1.2	2.1

４　課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度(実績)	目標値
1	大豆	生産性向上取組助成 （大豆団地化）	取組面積 10ａ当たり収量 団地化割合	（2019 年度）41.3ha （2019 年度）59.6 kg （2019 年度）64.7%	（2020 年度）59.5ha （2020 年度）70 kg （2020 年度）85%
2	野菜	地域振興作物助成 （野菜）	地域振興作物の作付面積	（2019 年度）2.7ha	（2020 年度）3ha
3	そば	生産性向上取組助成 （そば団地化）	生産性向上取組面積 10ａ当たり収量 団地化割合	（2019 年度）18.4ha （2019 年度）107.6 kg （2019 年度）69.4%	（2020 年度）20.0ha （2020 年度）60 kg （2020 年度）80%
4	ＷＣＳ用稲	団地化取組助成 （ＷＣＳ用稲）	団地化取組面積 団地化割合 10ａ当たり労働時間	（2019 年度）21.7ha （2019 年度）46.2% （2019 年度）17.7 時間	（2020 年度）25.3ha （2020 年度）50% （2020 年度）17.5 時間

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※　目標期間は３年以内としてください。

５　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり